

月刊



平成28年2月1日発行 通巻241号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・総務企画委員会
平成28年 建築関係五団体合同
年賀会開催 2
- ・情報広報委員会
2016年度フォトコンテスト作品募集
- ・まちづくり委員会
第7回「未来の家」「未来のまち」
子ども立体作品展開催のお知らせ
- ・情報広報委員会
「会員の声」を募集しています
- ・青年委員会
あーき塾「BIM CAMP (木造編)」
Hands-on- Vectorworks 3
- ・杭基礎の設計から工事監理における留意
点 ~技術的トラブルとその対処方法~
- ・女性委員会 Doシリーズ No.70
~まちづくりから学ぶ~
先進地・高松丸亀町商店街の100年
先を見据えた街づくり 4
- ・事務局
会員登録確認のお願い
- ・まちづくり委員会
高校生の「建築甲子園」報告 5
- ・ヘリテージマネージャー支援委員会
HM第8回講座報告
- ・女性委員会
女性委員会主催 全員会議 報告 6
- ・第2回くらしとすまいをみつめる
木材料・木構法等について実例を見
ながら学ぶ 報告
- ・青年委員会
あーき塾 ~建設業を取り巻くリスク
とその対応策~ 事業報告 7
- ・地区だより
湖北地区委員会
甲賀地区委員会
- ・滋賀職能大 (ポリテクカレッジ)
からのお知らせ 8
- ・新入会員紹介
- ・2月の暦
- ・残しておきたい滋賀の建築 第22回
近江ベルベット ボイラー棟(長浜市石田町)



慶雲館 (長浜市港町)

慶雲館は、明治20年(1887年)2月21日明治天皇、昭憲皇太后の御休憩所として、長浜の豪商・浅見又蔵氏が私財を投じて建設しました。命名は同行した初代内閣総理大臣・伊藤博文です。

約6000㎡の広大な敷地内には、地元の宮大工平山久左衛門(屋号山久)により総檜造りの秀麗な本館や茶室などが整備され、以後も長浜の迎賓館として使われてきました。

明治45年に造営された庭園は、京都の平安神宮神苑などを手がけ、近代日本庭園の先覚者と呼ばれた7代目小川治兵衛(屋号植治)によるもので、国の名勝に指定されています。主庭となる南庭は、地形に大きな起伏をつけた立体的な構造と巨石や大灯籠を用いた豪壮な意匠が特徴です。

また、今年は1月9日から3月13日までの間、新春の風物詩「長浜盆梅展」の会場となり見事な枝振りの梅と純和風の建物、そして雪吊が施された庭園の美しさに多くの観光客が訪れます。

平成28年 建築関係五団体合同年賀会開催

下記の通り合同年賀会が、当会幹事によりご来賓外190名の参加者により、盛大かつ和やかに開催されました。

開催日：平成28年1月8日(金)

午後4：00より

開催場所：大津プリンスホテル 「淡海」

参加団体：(公社) 滋賀県建築士会
 (一社) 滋賀県建築設計家協会
 (公社) 日本建築家協会近畿支部滋賀地域会
 滋賀県建築設計監理事業協同組合
 (一社) 滋賀県建築士事務所協会



2016年度フォトコンテスト作品募集

まだまだ募集しています! (詳細は月刊 家12月号・1月号をご覧ください。)

作品のテーマ 「郷愁(ノスタルジー)」・「フリー」(風景・建物などテーマは問いません)

賞金 大賞：商品券1万円分 入選：商品券3千円分

募集期間 平成27年12月～平成28年2月15日

送り先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
 (公社) 滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL. 077-522-1615

公益社団法人滋賀県建築士会2016年フォトコンテスト応募票

作品名		テーマ	
コメント			
応募者氏名		撮影場所	
会員氏名		撮影年	
住所	〒	連絡先TEL	

※取得した個人情報は、フォトコンテスト事業以外に使用いたしません。

第7回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展開催のお知らせ

県内幼稚園の方々、各関係者の皆様にご協力いただき、ご好評いただいている「未来の家」「未来のまち」子供立体作品展は第7回を開催させて頂くこととなりました。滋賀県民の皆様に、(公社) 滋賀県建築士会の存在をアピールすると共に建築士の役割を知って頂きたいと思っております。

開催日時：平成28年2月20日(土)～21日(日) 午前10：00から午後5：00まで

開催場所：ビバシティ彦根

情報広報委員会 「会員の声」を募集しています

会員の皆さんの活動報告、取り組みなどございましたら、2016 機関誌 家に掲載させて頂く予定です。2016年2月29日までに、公益社団法人滋賀県建築士会事務局までご連絡ください。

今回のあーき塾はエーアンドエー株式会社をお招きし、いま建設業界で話題のBIM (Building Information Modeling) をBIMツールの一つであるVectorworks Architect With Renderworks (ベクター ワークス アーキテクト ウィズ レンダーワークス) 2016を実際に操作しながら、BIMの概念や木造建築におけるBIM活用法を勉強します。

BIMとは？

ビルディング インフォメーション モデリングの略でコンピューター上に作成した3次元の建物のデジタルモデルに、コストや仕上げ、管理情報などの属性データを追加した建築物のデータベースを、建築の設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で情報活用を行うためのソリューションです

日 時：2016年2月24日(水) 13時～ 受付 13時30分～17時30分 (途中休憩あり)

会 場：滋賀職業能力開発短期大学校 本館 2階 パソコン室

滋賀県近江八幡市古川町1414 JR篠原駅より徒歩10分

定 員：25名 (先着順)

参加費：500円

参加条件：滋賀県建築士会会員

申込先：公益社団法人 滋賀県建築士会

TEL：077-522-1615 FAX：077-523-1602 E-Mail：shiga-sa@mx.bw.dream.jp

申込締切：平成28年2月15日(月)

あーき塾「BIM CAMP (木造編)」Hands-on- Vectorworks 参加申込用紙

氏 名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	メールアドレス		
	FAX番号		
CPD番号		地区名	

※申し込み頂いた個人情報に関しましては、今回のセミナーでのみ使用させていただきます。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

杭基礎の設計から工事監理における留意点 ～技術的トラブルとその対処方法～

主催／公益社団法人 大阪府建築士会

本講習では、杭工事の設計・施工及び工事監理について、建築構造の学識者や施工・監理に携わっている技術者を講師にお招きし、杭基礎の設計をはじめ、設計図書の見方、施工監理のありかた、技術的トラブルが発生した時の対処方法などについて分かりやすく解説していただきます。尚、本講習会は法定講習とは異なり受講は任意です。

日 程：2016年2月10日(水) 受付：13：00～ 講習：13：30～17：00まで

会 場：大阪府建築健保会館 6階ホール

大阪市中央区和泉町2-1-11 地下鉄谷町四丁目駅8番出口、徒歩7分

受講対象：どなたでも受講できます

受講料：本会会員：4,000円 後援団体会員：5,000円 一般：7,000円 (テキスト代、消費税込み)

定 員：150名 (申込先着旬)

講習の詳細及びお申し込みは、大阪府建築士会 予約ページをご覧ください

<https://aba-osakafu.or.jp/reserve>

「地元の人々を核にした、人にやさしく持続できるコミュニティ」を目指し、向こう100年を見据えた、高松丸亀町商店街の再開発事業の見学研修を行います。全国の地方都市では、シャッター通りになった商店街が手つかずのまま放置され、深刻な空洞化現象が生まれています。そんな中、民間主導で再開発を軌道に乗せたモデルとして、各方面から注目をされている「高松丸亀町商店街」の再生に向けての取組みと今後について学びます。



開催日時：平成28年3月5日(土)～6日(日)

研修場所：香川県高松市丸亀町

定員：25名 (先着順)

CPD単位：取得予定

参加費：会員 27,000円 会員外 35,000円 当日集金します。

行程：(1日目) 大津駅前公園出発(7:30)＝イサムノグチ庭園美術館(11:30～12:30)＝昼食(12:45～13:30) 郷屋敷＝高松丸亀町商店街 視察・研修(14:30～16:30)＝ホテル・チェックイン＝懇親会
(2日目) ホテル出発(7:30朝食は中西うどん店)＝四国村(9:00～10:30)＝昼食 道の駅うずしお(12:00～13:30)＝本福寺 水御堂(14:45～15:20)＝大津駅前公園(18:00頃帰着予定)

申込締切：平成28年2月18日(木)

Doシリーズ No.70 ～まちづくりから学ぶ～ 先進地、高松丸亀町商店街の100年先を見据えた街づくり 参加申込用紙

会員/会員外	お名前	連絡先	メールアドレス

※取得した個人情報、Doシリーズ No.70の事業以外には使用しません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

事務局 会員登録確認のお願い

会員のみなさまに登録について確認をさせていただきます。
2014年の会員名簿発行後、記載内容に変更のある方はご連絡ください。

公益社団法人 滋賀県建築士会
事務局 TEL 077-522-1615

祝！入賞

今年度の建築甲子園で滋賀県立安曇川高校の「私たちの町の通学路」が見事に全国大会ベスト8入選を果たしました。滋賀県建築士会は今後も高校生たちの頑張りを応援していきます。

大変おめでとうございます。

審査評

審査委員長 本城博一

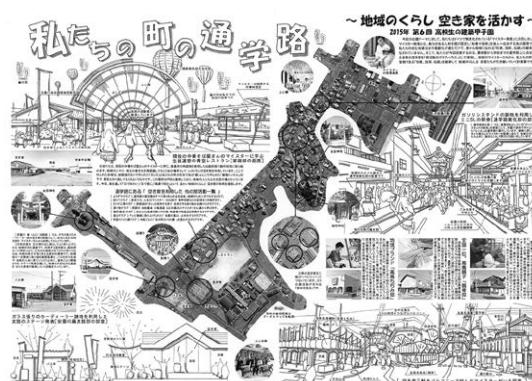
滋賀県立安曇川高等学校 作品「私たちの町の通学路」

現在、国の最重要施策の中で、「地方創生」が名乗りを上げて久しいが、今や全国各地で大きな社会問題となっている「空き家」はその数が日増しに増大し、地域の活性化の妨げとなっていることは言うまでもない。その対策こそが「地方創生」の鍵を握っているのではないだろうか。

この提案は、日々の通学途上で数多く点在する「空き家」を学校生活の中でどう活かすか、どう利用するか、そしてそれを今後の町の活性化にどう結び付けるかというものである。

安曇川の地域は昔から「知恵・技術・伝統」を伝えてきたが、少子高齢化が進み、次第に衰退しつつある。そこで、地域に点在する空き家を学校の部活動のクラブハウスとして再生し、地域のマイスター達から部活動を通して「知恵・技術・伝統」を次世代へ引き継いでいこうという計画で、まさに高校生でないと思えばないユニークで新鮮な発想である。

今回の提案の中で特に注目するのは、地場産業の盛んな土地柄である安曇川の、超一流マイスター達の卓越した技術を、適切な指導の下で部活動を通して学ぶことで後継者の育成が促進されることである。それは今後の地域づくりへの貢献として大いに期待される。



地域の伝統産業を守り育てる部活動

1、雲平書道部

四百年の歴史を誇る滋賀県無形文化財指定を受けた一子相伝の筆づくり技術と本物の「書」を学ぶ

2、扇骨部

全国一位のシェアを誇る安曇川の扇骨作り。扇骨だけでなく、完成品まで製作して近江扇面展を開催し展示している。

3、高島ちぢみ部

将来は学校の制服をちぢみで作ることを目標に、ちぢみづくりを学んでいる。

以上、高校生の学校生活を通して「空き家」対策への新しい提案で、条件さえ整えば実行可能な計画である。しかしながらこれを実現するには学校当局をはじめ、行政そして何よりも地元住民の理解と物心、両面に亘る暖かい支援と協力が必要である。

全国に先駆けて一刻も早い夢の実現が期待される。

ヘリテージマネージャー実行委員会

昨年9月に始まった平成27年度ヘリテージマネージャー育成講座も、第8回まで終了し、残す所2回の講座となりました。

1月16日の第8回講座は「文化財建造物の耐震補強」を中心とした、木構造の耐震設計について元滋賀県立大学教授 福本和正先生より講義をいただきました。講座終了後は前回に引き続きグループに分かれて第10回発表会に向けての取りまとめ作業（グループ討議）を行ない、調査対象建物の保存活用計画も最終段階を迎えています。



12月19日(土) 長浜市「旅籠 白忠」にて、(公社)滋賀県建築士会女性委員会主催の全員会議を開催しました。女性委員会より10名、本会より2名、開催地である湖北地域会より3名のご出席をいただき、会議は滞りなく終了いたしました。

全員会議終了後、副委員長の小川慈さんより「高齢社会と福祉住宅」と題した講演をいただきました。これは、本年度の全国女性建築士連絡協議会の分科会で発表されたもので、小川さんのご家族に起こった事を例に、建築士としてそして家族としての取り組みについてわかりやすくお話されました。発表後も質疑が飛び交い、この時間を持ってよかったと感じました。御参加いただきました皆様、ありがとうございました。



第2回 くらしとすまいをみつめる 木材料・木構法等について実例を見ながら学ぶ 報告

大阪木材仲買会館は、かつて木材が水運で流通していた堀江の地に、木材の殿堂を建築したいという大阪木材仲買協同組合の理念のもと行われた設計プロポーザルにて、竹中工務店が勝利し、同社の設計・施工により建築されました。

かつて木材の流通に縁のあった同地も、今やその面影はありません。その中であって、3年前に建てられた大阪木材仲買会館は、木がふんだんに使われたそのファサードが静かに存在感を放っています。

同会館は、防火のため北・東面にRC壁が使われるなど、RCとの混構造となっています。建築物の利用者から見ると、木がふんだんに使われていることで、シャープなデザインの中にも温かみのある、落ち着いた空間がそこにはありました。無理なく、しかし積極的に都市の中に木質構造材を取り入れる柔軟な設計思想が感じ取れました。

随所に木づかいの設計者の配慮を感じる建築ですが、とりわけ印象的なのはその庇の出の深さです。設計者は、この建築の顔となる南面開口部に全面木製建具(集成材が芯材)を採用していますが、それらが直接日射や風雨にさらされると木材の劣化が懸念されるため庇を深くしたそうです。建材のために設計するというある種贅沢な話ですが、それは同時に夏季の日射を適切に遮り、ヒートアイランド対策にもつながり、施設利用者の快適性にもつながっています。

また、広い木の床のバルコニーは日本の縁側空間のように内部空間と外部空間の連続性を生み出しています。

都市において、また耐火構造が求められる中で、挑発的ともいえるような木を全面に押し出したファサードは、新しい木質構造材を活用した建築の可能性を感じさせられ、まさに木の殿堂の風格を感じられました。

後半は、間伐材の有効活用のため伝統構法をベースに新たな構法を開発された宮内寿和氏と川端眞氏の講演でした。現状として日本の山の間伐材の需要がないことが、40年後、日本の山から木がなくなることにつながるというお話が一番印

主催・企画／近畿建築士会協議会女性部会

象的でした。その情報が印象的であっただけでなく、語り手の宮内氏が大工として非常に危機感を持っておられることが強く伝わってきたことが、胸に響きました。

宮内氏と川端氏はこの日本の山の木の現状を何とかしたいという強い思いから、その対策として、間伐材を建築構造材として使用する新たな構法「小径木対応型挟み梁構法」を開発されました。間伐材のような小径木を流通させるためには、4寸角の木材で設計していく必要があること、また木の本来の強度を最大限に引き出すために水中養生をしておられることをお聞きました。

また、間伐材を建築構造材として利用することは、炭素固定にもつながりCO₂削減にも寄与します。伝統構法の技術と、水中養生という古来からの手法を伝承することもでき、山の木を守ることもできる、まさに日本の未来と世界の未来に希望が持てる構法だと感じました。

お二人は大工と建築士という立場も異なり、語り口も異なるのですが、お二人が本当にいい関係を構築され、日ごろから厚い信頼関係を築いておられることが強く感じられる講演でした。

講演者の皆様、運営者の皆様、貴重な学びの機会をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。



宮内氏・川端氏による講演



白波瀬氏の解説による館内見学

青年委員会では、12月12日(土)に旧大津公会堂多目的室にて、あーき塾「建設業を取り巻くリスクとその対応策」を開催しました。

講師に、東京海上日動火災保険株式会社 滋賀中央支社長 牧原卓也氏、株式会社総合滋賀

代表取締役 足立剛氏をお迎えし、第1部では、さまざまな事例を基に、どのようなリスクがあり、どれくらいの損害が発生しているのかを学び、第2部では、そのような事故事例に対して、保険がどう対応しているのかを学びました。

建設中物件の損壊や目的物の盗難、安全配慮義務違反等々。特に現場で作業する方々にとっては、大変有意義なセミナーとなりました。

週末の何かとお忙しい時期にもかかわらず、多数ご参加頂きありがとうございました。



地区だより

湖北地区

紅葉の京都グルメ満喫の旅をおえて

本年も湖北地域会会員、賛助会員並びに長浜建築施工管理技士会会員の交流事業として、11月26日に「紅葉の京都グルメ満喫の旅」に出かけました。当日は、あいにくの小雨でしたが、観光地では、傘もささことなく観光が出来ました常照寺、源光庵、そして、光悦寺と隣接しています観光地を紅葉とともに満喫いたしました。今年の紅葉は、気温のせいかもしれないが鮮やかさがありませんでしたが、庭園のなかは、よく手入れがなされとてもきれいでした。また、しょうざんリゾート京都では、すごく日本庭園が自然のなかに素晴らしく馴染んでいて気持ちがリフレッシュしたうえ、昼食もおいし

く頂きました。ゆっくりとした食事と和やかな旅を楽しめた一日でした。



甲賀地区

甲賀地域会便り

甲賀地域会では本年度2回目の研修会を11月27日に開催しました。今回は技術研修会として1部で(有)加藤建材代表取締役加藤建造氏に「屋根と瓦の講話」を、2部では城東テクノ(株)大阪営業所所長赤澤伸一氏より「FRPグリッド基礎補強工法設計施工技術講習」をそれぞれご担当いただきました。

加藤社長からは瓦葺き技術の変遷や材料、工法についてお話を頂くとともに、自社で施工担当されました国宝彦根城での苦労話などを交え貴重なお話を伺うことが出来、続く城東テクノ(株)様からはFRPグリッド工法による耐震補強、設計・施工技術講習として開催いただき、受講者には後日講習終了

証がいただけるという専門的な講習会となりました。

甲賀地域会では、今後も賛助会員様のお力添えをいただき同様の講習会、研修会を続けていきたいと考えております。



滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ



2月12日（金） 10：00～ 全科、全学生による発表会
（制作作品同時展示）

- ・若年者ものづくり競技大会優勝
- ・未来の窓を提案「テクノ愛2015」大学の部奨励賞
- ・木造耐力壁ジャパンカップ4連覇

学生達の2年間の成果をぜひご覧ください

ポリテックビジョン滋賀2016 開催

2月19日（金） 9：30～ 卒業制作各科代表作品の発表
特別講演会「まいど1号プロジェクト」

棚橋電機(株) 棚橋秀行 氏
有ヒサミツ 寺久保利光 氏

※特別講演会は、先着60名 事前申し込みが必要です

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属
滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)
www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課 TEL：0748-31-2254
FAX：0748-31-2255

新入会員のご紹介

地区	氏名
甲賀地区	岡村 浩樹

2月の暦

1	月	仏滅		12	金	大安	情報広報委員会	21	日	友引	子ども立体作品展(表彰式)
2	火	大安						22	月	先負	
3	水	赤口	第3回 渉外事業委員会	13	土	赤口	第10回ヘリテージマネージャー養成講座(閉講式) 近畿青年サミット	23	火	仏滅	
4	木	先勝	第5回 女性委員会					24	水	大安	
5	金	友引		14	日	先勝		25	木	赤口	
6	土	先負	免許交付式・青年建築士交流会	15	月	友引		26	金	先勝	第4回定期講習
7	日	仏滅		16	火	先負		27	土	友引	
8	月	先勝	第1回 継続能力開発委員会	17	水	仏滅		28	日	先負	
9	火	友引		18	木	大安		29	火	仏滅	
10	水	先負		19	金	赤口	理事会				
11	木	仏滅	建国記念の日	20	土	先勝	子ども立体作品展				

残しておきたい滋賀の建築 第22回

近江ベルベット ボイラー棟 (長浜市石田町)

近江ベルベットの本社工場は、武将石田三成の出生地から300mほど北に行ったところに立つ。創業は日露戦争さなかの1905年（明治38年）にさかのぼる。

正門脇の事務所棟の隣にあつてよく目立つ赤れんがの建物がボイラー棟で、1921年の建設である。かつて県内に数多く立地した繊維工場が次々と姿を消す中、明治期からの施設を残すのはまことに貴重であり、地域の歴史を語る上でも欠かせない存在である。

